

廿日市市立吉和小学校・吉和中学校 学校教育目標

自分を育て 人とつながり 自己実現する 児童生徒の育成

〔研究主題〕

自己調整しながら主体的に学び、必要感をもって表現できる児童生徒の育成
～振り返りの充実と対話活動の充実を通して～

〔めざす児童生徒像〕

- やる気・本気・根気のある児童・生徒
- 考えをはっきり言える児童・生徒
- 優しい心で接する児童・生徒
- 自らすすんで働く児童・生徒



〔昨年度の取組〕

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を意識した授業づくり

グループ内授業研修

「選択肢と自己決定」のある授業づくり
振り返りの充実

【成果】・吉和学園版振り返りシートの作成・活用
・「選択肢と自己決定」のある授業形態の確立

〔課題〕

授業者	児童生徒
①振り返りの視点が曖昧であった。 ②研究授業後の各教員の授業への還元が不十分であった。	①自分の考えを適切に表現する力が不十分であった ②自己認識力が不十分であった。
要因 ①各教員の主観に偏った見取りとなっていた。 ②研究授業の回数が少なかった。	要因 ①自分の意見を表現する場・相手が不足していた。 ②振り返りの視点が不明確だった。

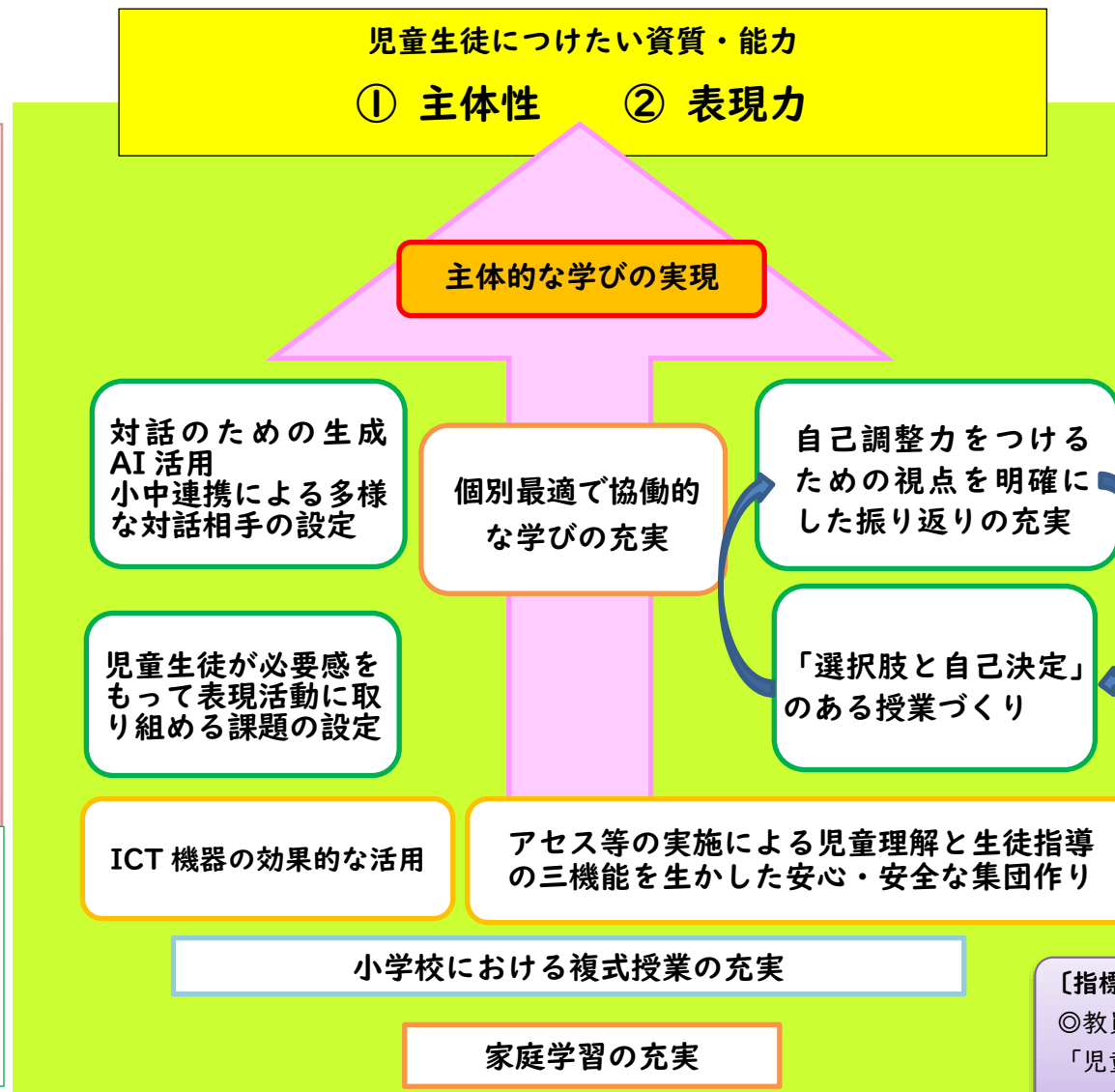
〔研究仮説〕

振り返りの視点を明確化と、その視点に沿った授業づくりをすることで、自己認識力が上がり、自己調整しながら課題に取り組む力が育ち、児童生徒の主体性が育つであろう。また、児童生徒が必要感をもつことのできるような学習課題を設定することで、他者との対話など生きた表現が増え、児童生徒の表現力が育つであろう。

〔研修計画〕

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○全国学力・学習状況調査	○校内研修 (今年度の研究の方向性について)	○理論研修①	○研究授業① ○学校評価アンケート実施 ○教材作成① ○ICT機器活用研修①	○全国学力・学習状況調査分析 ○指導案検討	○授業公開 (グループ別)	○研究授業②		○学校評価アンケート実施 ○2学期実践報告 ○ICT機器活用研修②	○研究授業③ ○学カテスト実施	○学カテスト分析と授業改善	○研究のまとめ

〔研究構想図〕



(1) 個別最適で協働的な学びの充実

- ◎視点を明確にした振り返りのある授業
 - ・児童生徒が自己調整力を高められるような振り返りシートの作成・実施とそのための時間の確保
- ◎「選択肢と自己決定」のある授業スタイルの確立
 - ・児童生徒が自ら学びに向かうことができる活動・教材の充実などによる個別最適な学びの充実
- ◎自己の考えを表現する場の充実
 - ・小中連携授業の実施
 - ・対話の相手として生成AIの活用
- ◎児童生徒が必要感をもって表現活動に取り組める課題の設定
 - ・単元構想シート等の活用による質の高い問い・課題の設定

(2) 理論研修の実施

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識した少人数に最適な授業づくりに関する理論研修を実施

(3) 授業研究の実施

- ・小中合同での研修実施
- ・全員が研究の主旨に合致した単元計画を作成しグループ内で授業を公開
- ・児童生徒に視点を当てた授業観察シートの効果的な活用

(4) ICT機器の効果的な活用

- ・ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ICT指導員との連携・研修

(5) 生徒指導の三機能を生かした安心・安全な集団作り (自己有用感・居場所感を高める)

- ・アセスの実施、分析

〔指標〕

◎教員アンケート
「児童生徒は振り返りチェックシートの内容を満たす振り返りができている」肯定的回答 80%以上